

# 抜粋 平成29年度一般会計 予算特別委員会審議

恩納村議会3月定例会は、3月6日から22日までの日程で開催され、議長及び議会選出監査員を除く14名で構成された予算特別委員会で、平成29年度予算の審議が行われました。

本年度も新たな事業が多数あり、費用対効果や昨年度の精査も踏まえ、慎重審議が行われました。

その内容について、委員長報告書の中から二部を抜粋して掲載します。

## 恩納村通信所跡地利用計画の現状について

**質疑** 昨年12月定例会において、陳情を採択したが基本計画策定について地域との調整の進捗状況は。

**答弁** 地域の要望と整合性を取りながら用域変更など、解決すべき課題がある。

計画の前段として検討調査業務を行なう、万座毛や、その一帯の地域づくりにつながる開発計画を策定し、地域や地主会にも説明会を開催する。

## ふるさとづくり応援寄付金業務代行業業について

**質疑** 事業費として5千万円を計上しているが、ふるさと納税額が想定よりも減った場合のリスクについて検討したか。

それと、今後、地場産業の育成につながる返礼品の開発を行なうのか。

**答弁** 人件費、広報費等に変動はないが、返礼品については件数に変動して、経費は増減するのでリスクは回避できる。今後、返礼品の開発について投資リスク等がないよう、村、広告代理店、委託先等(商工会)と協議し、本村の地場

## 赤土等流出防止営農対策促進事業について

**質疑** どのような事業計画か。

**答弁** 県より屋嘉田潟原流域が、赤土流出重要監視区域として指定されており、3年かけて農地周辺にクワン草、竜の髭、サンニン等を植えて、グリーンベルト帯を設ける。

農地からの赤土流出防止に取り組む事業で、一括交付金活用の100%補助事業です。

## 学校給食賄材料費について

**質疑** 今後、給食費無料化に向けて、検討も行なっているか

**答弁** 子育て支援、多子世帯への支援について教育委員会では協議されており、財源が伴うものなので、調整して検討したい。

## 【委員会意見】

予算特別委員会の意見として今定例会の予算審議の中で、委員より予算修正の声も聞こえた。

委員会も決議責任があり、真剣に審議している。

当局におかれても、予算編成の段階で、積算根拠について精査し、議会にはその根拠となる資料で納得の出来る説明をして頂くことをお願いし、委員会の報告とします。

委員長 又吉 薫

担当 外間 勝嘉

## 前兼久漁港内公園施設計画図面作成について

**質疑** どのような事業計画か。

**答弁** 以前から、村として公園計画がありました。前兼久漁港内の村単独用地の一部に、駐車場、ゲートボール場2面、遊具等を完備した公園の基本図を平成29年度で作成するものです。

今後、事業メニューを検討し、平成31年度までには完成したい。

## 名嘉真川橋梁整備実施計画業務について

**質疑** 再編交付金に代わる、今後の財源確保は。

**答弁** 現在は、村単費で計上している。社会資本整備事業として予定であるが、県の予算状況は厳しく、可能であれば9条交付金等を活用することで、早く

## 学校建設費について

**質疑** どのような事業計画か。

**答弁** 委託料は、学校校舎建設の実施設計と外構の実施設計、公有財産購入費は校舎建築に伴う用地購入費など、すべて中学校統合関連のもので、総事業費5億8千万円です。

### 用語解説

【再編交付金とは】平成19年度の在日米軍再編による陸上自衛隊のキャンプ・ハンセン共同使用の受け入れにより、金武町・宜野座村・恩納村に10年間交付された。住民生活の利便性向上や産業の振興に寄与する事業等に活用された。

【6条交付金とは】ジェット機が離着陸する飛行場や砲撃等がおこなわれる演習場等の周辺で、生活環境や地域開発に影響を受ける市町村に交付される。

交通・産業・レクリエーション・社会福祉施設等の公共施設の整備に活用することができる。

事業実施できればと考えている。